

二〇一一年市民社会川柳ベスト10

NPO法人市民社会研究所のホームページ上で原則毎日更新している「市民社会川柳」の中から会員・スタッフの投票で二〇一一年のベスト10を選びました。

- 一 レベル7出てこい全ての責任者（作 吉武三和子 市民研究員）
東京電力だけでなく、原発の安全神話を支えてきた政治家、官僚、学者も同罪（四月）
- 二 評論家あなたに世直してほしい（作 中丸けい子 一般）
テレビで立派なことを言われるので・・・（八月）
- 三 竹島より福島失うわが領土（作 松井真理子 代表 + 金 憲裕 副代表）
福島原発周辺は竹島より広い範囲で立ち入り制限（九月）
- 四 億年後電車の化石が出るチャイナ（作 松井真理子 代表）
穴を掘って埋めるといふ発想がスゴイ（七月）
- 五 総理の座だけは短命長寿国（作 吉武三和子 市民研究員）
菅政権が六月八日で発足一年、小泉政権以降最長の安倍政権に並ぶ（六月）
- 六 アメリカの金魚の糞になるどじょう（作 太田二三三 一般）
「どじょうは金魚の真似をしない」で首相になったけれど（十一月）
- 七 内視鏡見えぬ身内の腹の中（作 ポケよん 市民研究員）
オリンパスの損失隠しはお得意の内視鏡でも発見出来ず（十一月）
- 八 被災地に申し訳なく湯に浸かる（作 吉武三和子 市民研究員）
たっぷりのお湯、あたたかな食事。これまで気づかなかったことの大切さに気づかされた三月（三月）
- 九 自衛隊敵は自国の原子力（作 坂東行和 顧問）
大震災とその後原発事故で最も活躍したのは自衛隊でした（三月）
- 十 安全な場所で解説専門家（作 金 憲裕 副代表）
原子力の専門家がテレビで解説。そんなに詳しいなら事故現場で働いて（四月）

